湘南つばさの家　支援会通信

「羽包み（はくくみ）」

第18号　令和元年12月1日発行

自立援助ホーム「湘南つばさの家」

〒253－0022 神奈川県茅ヶ崎市松浪 1-12-17

TEL・FAX 0467－58－6260　shonan-tsubasa@marble.ocn.ne.jp

〔郵便局での振込みは〕 ゆうちょ銀行 振替口座 00200-5-81277 自立援助ホーム 湘南つばさの家

〔銀行からの振込みは〕 ゆうちょ銀行 店名：029 当座 0081277 自立援助ホーム 湘南つばさの家

長い河の流れの中で

ホーム長 前川 礼彦

人生は長い河の流れのようだ。

僕らはどこから来て、どこに辿り着くのか。

この世で与えられたそれぞれの年月の中で、心を磨き、何かを成し遂げ、生き方を問われているのだとしたら、その答えは人生の終わりに分かるのだろうか。

しかし私は、この一生が全てではないと感じている。

この世に生まれては消え、浮かんでは消えを繰り返し、途方もない長い道のりを進んでいくのではなかろうか。限られた年月のこの人生を、一生懸命生き、出逢う人や出来事を通し、心を磨き、一生を通した生き様で心は成長し続けていくのだろう。

だからあなたにも、自身の心の奥の感覚を信じ、少しでも実りのある人生を全うしてもらいたい。その為に出来ることはあるか。何か手伝えることはあるか。全ての関わる人にそう伝えたい。

途方もない長い河にとって、その一生は年月を生きる程、実は短いものなのかもしれない。100 年後、僕らは居ない。だから想いを伝え、支えあい、形に残し、未来の世代に繋げていく。そうやって時代は長い河を創ってきた。

生あるものは永遠ではない。別れは寂しく、悲しいものである。

しかし、きっとまたいつか、逢える日はやってくる。

この世で家族として、仲間として、大切な人として、深く出逢った「縁」はきっと形を変えて、また再び逢えると信じている。

昨日よりは今日、今日よりは明日。成果は 1 年後、5 年後、10 年後かもしれない。

僕らはそれぞれの場所で、世の中をほんの少しずつ良いものに変えようと努力をしている。自身の働きや生き方が、どこかで誰かの生きる支えとなり、少しでも社会に貢献出来るのなら、この世に生まれた意義も感じるだろうか。

誰しも将来や老後を案じて不安になるかもしれない。しかしその河の流れにはもっと先があるのだろう。今与えられたこの人生の年月を自分らしく精一杯生き続けていけるなら、きっと辿り着くべき所へ辿り着ける。そう思いながら今日を噛みしめて生きているのです。

皆様の人生が潤い、幸せでありますように。いつもホームを支えて下さり感謝を申し上げます。